## 佐賀大学 海外派遣留学報告書

1	学籍番号	17251046					
2	氏 名	吉田 将基					
3	佐賀大学での 所属(派遣時)		農学部		応用生物	物科学科	3年
4	4 留学先	大学: 国立中興	 大学	学部•	学科等: IBPA		
4		国・地域	台灣	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	都市名		台中
5	留学期間	2019	年 9	月 ~	2020 年	1 月	
6	留学先大学	①【留学前】 留学先 台湾の文化に興明 ら。 ②【留学後】 留学先	があり、特に		ママロ できゅう できない マップ マップ かいかい かいかい かいかい アン・スティン アイ・マイン マイス かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい アイス かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	で有名だと	∠聞いていたか
		現地の台湾人の学の母国語は英語でに近い気がしたの	はないが、英	語を使う機	会が豊富にあっ		
7	語学について	①【留学前】TOEFL等	等の公的試験σ	)最終得点			
		TOEFL •TOEIC			スコア 490・860	)	
		②【留学前】語学能力 TOEIC・TOEFLの勉強					
		③【留学中】現地生活	話を開始した当	初の日常生活	舌における語学能	カ 	
		ロウ)かなり困った					
		(全【留学中】日常生》 	きで困らなくなる	までかかっ <del>7</del> 2ヶ月く			
		   ⑤【留学中】留学先え	大学の授業や研				
		ロウ)かなり困った	(10),,,,,,,	1701-0017 0	1100/1/1/2		
			研究で困らなくな	ふまでかか	った月数		
				2ヶ月く	<b>`</b> 611		
		⑦【留学中】授業や研	研究室における	発言			
		口ウ)かなり困った					
		8【留学中】授業や研	研究室における			た月数	
		<b>◎ [</b> ku 54 T ] T 25 44 T u	中の進出の際	2ヶ月く	*5 <sub>1</sub> 1		
		⑨【留学中】授業・研	究の準備の除(	カメ 献読解			
		口ウ)かなり困った	カの進出の殴	ㅇ☆#☵##	ス田こかりかりナイ	± + + = + =	□ * <i>k</i>
		⑩【留学中】授業・研	光の牛佣の除(	<u>ルメ脈統胜</u> 3ヶ月く		かかつにど	H 釵
		⑪【留学中】授業·研	究におけるレオ				
		ロイ) 少し困った					
		⑫【留学中】授業・研	究におけるレオ	ペート 等の執	筆で困らなくなるま	でかかった	た月数
			L	3ヶ月く		-	
		(3)【留学中】語学能力 積極的に留学生の力				ョンをとった	÷,
		X   Z   Y   X   Y   X   Y   X   Y   X   Y   X   Y   X   X	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- , <u>-</u> ~ n		CC 21.	_0

8	履修登録• 単位認定	①出発前に留学先での履修登録はできたか		
		□いいえ		
		②留学先に到着後、履修科目の変更・追加はできたか		
		ロはい		
		③一学期あたりの履修科目・単位数		
		6単位		
		④一学期に履修した科目数・単位数の量		
		口ちょうどよい		
		⑤履修登録に関するアドバイジング		
		□なかった		
		⑥留学先で取得単位を佐賀大学で単位互換できたか		
		単位互換する予定はない		
9	授業内容	①履修した科目の具体的な概要・内容		
		〇普通化学 化学の基本的な概念、原子、分子、化合物や化学反応についての講義、三回の小テストと期末テストで評価される。 〇会計学 企業の損益計算書に記載されている情報の読み取り方、そして企業の分析の仕方について学ぶ。中間テスト、小テスト、期末テスト、授業への参加、取り組み方で評価される。		
		②留学先の学年暦(学期・休暇)、授業スタイル、授業への準備、試験等の準備		
		1)学年暦 秋学期(9月~1月)		
		2)授業スタイル 講義、定期テスト		
		(3) 予習復習方法 授業中に習ったこと、その範囲のテキストを読んで練習問題を解く (4) 試験・レポートの準備 テキストの章末問題を解く		
10	課外活動	①課外活動に参加した頻度		
		口イ)週に1回程度		
		②参加した課外活動はどのようなものか 大学のサッカー部(約2ヶ月半)、学部対抗のサッカー大会		
		③参加した理由		
		③参加した理由 スポーツを通して、現地の学生や留学生と交流したかったから。		

11	学内外の施設・ 環境等	①留学先のインターナショナルオフィスの支援体制		
	<b>አ</b> ፋሪድ ላ፲	ロイ)ふつう )		
		②図書館		
		ロア)充実している		
		③学内通信環境		
		ロイ)ふつう		
		④運動施設		
		ロア)充実している		
		⑤飲食施設(学食・売店等)		
		ロア)充実している		
		⑥クリニック		
		ロイ)ふつう		
		⑦キャンパスの安全性 		
		ロア)安全		
		⑧安全について特に気を付けていたこと(キャンパス内)		
		台湾の人は運転が荒いので、キャンパス内を走っている車や、バイクに気をつけていた。		
		⑨渡航先の治安状況		
		□イ)日本と変わらない		
		⑩特に近付かない方がいいと感じた地区や場所		
		①通学に関しての交通事情や留意点		
10	<b>ル</b> 江	寮からキャンパスは非常に近かったので徒歩で通学していた。		
12	生活	①留学中の住居形態		
		ロア)寮		
		②住居はどのように探したか		
		大学の紹介		
		③留学先での生活費(月額)		
		合計 約66000円/月		
		詳細:ア)宿舎費:		
		イ)食費:		
		エ)交通費:2000 円 オ)その他15000 円		
		7) (0) 15 17		
		<ul><li>④お金はどのようにしてもっていったか</li></ul>		
		現金		
	⑤留学先における物価(日本・佐賀と比較して)			
		ロウ)安い		
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		⑥留学中奨学金を受給したか		
	ロア)はい			
⑦受給した場合は、その奨学金名と金額		⑦受給した場合は、その奨学金名と金額		
		ア) 奨学金名 日本学生支援機構留学支援制度(協定派遣) 奨学金 イ) 金額 60000円		

13	進路∙就職	①留学前に志望していた学部卒業後の進路または大学院終了後の進路
		就職
		大学院留学または就職
		③今回の交換留学を通じて得たもので、将来のキャリアに活かせると思うもの
		外国の人と多く関われたことで、国際感覚や文化の多様性への寛容さを身につけることがで    **
		きた。 
		↑ 佐 12 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		④進路選択、就職活動を行う上で、不安や気になること
		海外の大学院への出願方法やその他の手続き
14	留学後の感想	①留学したことによる成果と課題
		実際に海外で、英語を流暢に話せるネイティブや非ネイティブの人たちと英語でコミュニケー
		ションできたことで、自分の英語力がいかに低いかを痛感することができた。この経験を糧に
		して、これからも英語学習に必死に取り組みたいと思った。 
		②これから留学を希望する学生に伝えたいこと
		学生のうちに留学することは、とても貴重な経験になり、また留学後の人生にも良い影響をも
		たらすと思うので、少しでも留学に興味があるならぜひ挑戦してほしいです。
		②国際充法批准し、4、の共ポールに対する担実 辛見かじ
		③国際交流推進センターのサポートに対する提案・意見など
		たくさんサポートしていただきありがとうございました。 